

各位

会社名 株式会社フェニックスバイオ
代表者名 代表取締役 島田 卓
(コード番号：6190 東証グロース)
問合せ先 専務取締役管理部長 田村 康弘
(TEL 082-431-0016)

2024年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び
通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2023年5月15日に公表しました2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2024年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期 第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異
(2023年4月1日～2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,011	95	97	91	26.84
今回実績(B)	881	△5	45	27	7.53
増減額(B-A)	△129	△101	△51	△63	—
増減率(%)	△12.8	—	△52.8	△69.7	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	1,135	367	403	356	107.65

2. 2024年3月期 通期連結業績予想数値の修正
(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,038	248	250	235	69.45
今回修正予想(B)	1,817	8	45	24	6.62
増減額(B-A)	△221	△239	△204	△211	—
増減率(%)	△10.9	△96.5	△81.7	△89.7	—
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	2,124	508	511	493	145.23

3. 差異及び修正の理由

第2四半期連結累計期間の業績につきましては、核酸医薬品及び遺伝子治療でのPXBマウス需要は堅調に推移しており、安全性等分野では売上計画値を上回りましたが、薬効薬理分野においては主力の海外製薬企業で抗B型肝炎薬の開発予算の見直しが相次ぎ、見込んでいた受託試験案件が中止や大幅な延期に追い込まれるなど計画値を大きく下回り、売上高全体では計画未達となりました。費用についてはほぼ計画値どおりでありましたが、売上高の減少に伴い、営業損益は赤字となりました。経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益については、円安の進行により為替差益が計上されたことで黒字となりましたが、計画値を大きく下回る結果となりました。

通期の連結業績予想につきましては、引き続き底堅い需要が見込まれる安全性等分野では当初の売上計画値を約10%上回る見通しですが、市況が急速に悪化した薬効薬理分野では早期の好転が見込みにくい状況にあることから、当初の計画値から約57%下回る見通しとなり、売上高を修正いたします。損益面につきましては、受託試験の外注費は減少するものの人件費等は増加しており、費用全体では若干の増加となる見込みから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について、それぞれ大きく減少する見通しとなりました。

なお、想定為替レートにつきましては、現在の状況を鑑みて1ドル130円から145円に変更しております。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上